

## 第二回 JASTIP Disaster Prevention International Cooperation Research シンポジウム (JASTIP-WP4 Symposium)に参加し発表しました (2017/03/22-23)

テーマ：防災、国際共同研究

場所：京都大学防災研究所宇治キャンパス

平成 29 年 3 月 22-23 日に京都大学防災研究所と日 ASEAN 科学技術イノベーション共同研究拠点(JASTIP)の共催で第二回 JASTIP Disaster Prevention International Cooperation Research シンポジウム(JASTIP-WP4 Symposium)が開催されました。災害科学国際研究所の教員も防災の分野で、本共同研究拠点に関わっています。今回のシンポジウムには、本研究所から災害リスク研究部門 津波工学研究分野のサッパシー・アナワット准教授とリーラワット・ナット助教が参加し、以下のタイトルで本研究所の活動紹介や、本共同研究拠点の活動によって得られた結果等を報告しました。(太字は発表者・下線は本研究所所属の教員)

タイトル: Collaborative Researches and Activities on Water-related Disasters in ASEAN Countries

Anawat Suppasri, Fumihiko Imamura, Natt Leelawat

タイトル: ICT Use in Disaster Evacuation of ASEAN Citizens: Lessons Learned from the 2011 Great East Japan Earthquake and the 2016 Kumamoto Earthquakes

Natt Leelawat, Anawat Suppasri, Fumihiko Imamura, Abdul Muhari (Ministry of Marine Affairs and Fisheries, Indonesia), Monkongkorn Srivichai (Rajamangala University of Technology Lanna Chiang Rai Campus, Thailand), Elsie Benedict Jaimin (Malaysian Meteorological Department, Malaysia)

シンポジウムでは、日本と ASEAN からの本共同研究拠点参加者より地震、津波、台風、高潮、洪水等、多面的な防災の研究活動が報告され、活発に議論、意見交換が行われました。また、シンポジウムの最後にはこれからの共同研究の方針についての議論が行われました。



JASTIP-WP4 Symposium



JASTIP-WP4 Symposium Session 3



サッパシー准教授の発表の様子



リーラワット助教の発表の様子

文責：サッパシー・アナワット, リーラワット・ナット (災害リスク研究部門)